RELIANCE　　オートハンドソープディスペンサー

取扱説明書　R448

このたびはオートハンドソープディスペンサーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
なお、この「取扱説明書」は大切に保存してください。

安全上のご注意

ご使用の前に、この**「安全上のご注意」**を必ずお読みの上正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に保管してください。

●表示と図記号の意味は次の通りです。

⚠ 危険	誤った取り扱いをしたときに 死亡や重傷などの危険がさしせまっているもの	🚫	絶対に行わないでください。
⚠ 警告	誤った取り扱いをしたときに 死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	🚫	絶対に分解･修理･改造はしないでください。
⚠ 注意	誤った取り扱いをしたときに障害または 家屋･家財のどの損害に結びつくもの	❗	必ず指示に従い、行ってください。

取り付け上の注意事項

⚠ 危険	**火気のある場所には取り付けないでください。また、火花が出るような器具の近くにも取り付けないでください。 万一に備えて製品取付場所の近くに消火器を設置してください。**
⚠ 警告	**屋内で直射日光の当る場所に取り付けないでください。また、高温になる場所にも取り付けないでください。** →誤動作や火災の原因になることがあります。
	丈夫な壁面に取り付けてください。必ずネジ止めしてください。 →落下による故障、思わぬケガの原因になることがあります。
⚠ 注意	**湿気の多い所で使用しないでください。** →故障の原因になります。

使用上の注意事項

⚠ 警告	**本体に直接水をかけないでください。** →電気の絶縁が悪くなり、故障や火災の原因になります。
	薬液は絶対に飲まないでください。 →健康を害する恐れがあります。
	都市ガスなどのガス漏れがあったときには、本体には触れず、窓を空け換気してください。 →引火爆発し、火災ややけどの原因となることがあります。
	焦げ臭いなどの異常がある場合は、すぐに運転を中止して、アルカリ乾電池(単2×4本)を抜き、 当社お問い合わせ窓口までご相談ください。
⚠ 注意	**当社指定の薬液以外は使用しないでください。** →故障の原因になります。
	本体の上部、およびカバーの上に、物を置かないでください。 →故障の原因になります。
	薬液を取り扱う時は、その薬液の「取扱上の注意」などをよく読んでからお使いください。
	取り付け、カバーの開閉および乾電池の交換など取り扱いに際しては、注意書きをよくお読みください。
	最良の状態でお使いいただくために、新しいアルカリ乾電池(単2×4本)をご使用ください。
	薬液パウチの装着時、薬液がこぼれないように注意してください。 薬液がこぼれた場合は、すぐに拭き取ってください。
	長期間使用しないとき、または保管するときは、本体ならびにトレーを拭き、 必ず薬液パウチを外しておいてください。また、本体内のアルカリ乾電池(単2×4本)を抜いてください。
	本器の設置場所は、誤動作防止のため、以下のことに注意して決めてください。 →本器の周りに障害物がある場所は避けてください。

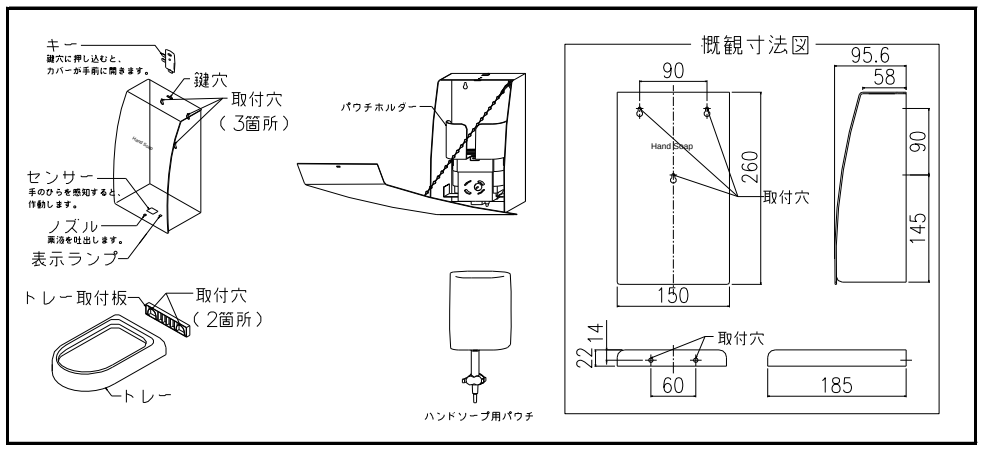
移設･修理時の注意事項

⚠ 警告	**修理技術者以外の人は、絶対に分解したり、修理･改造は行わないでください。**

廃棄時の注意事項

製品を廃棄するときは、各国、地域の法律または規則に従ってください。 電池を廃棄するときは、各国、地域の法律または規則に従ってください。

各部の名称



取り付けについて

取り付けに適した場所

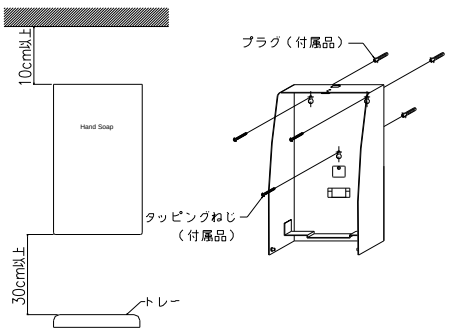
- 壁面が丈夫なところ …… 弱い壁面(コンパネ[6mm以下]や石膏ボード等)の場合は、補強材で補強してください。落下により故障や思わぬケガの原因となります。
- 熱気や凍結のないところ …… 直射日光や調理器具･暖房器具などの熱の影響を受けますと、火災の原因になることも考えられます。周囲温度が0℃以上、35℃以下のところに取り付けてください。
- 火気のないところ …… 火または火花を生じる器具のそば等への取り付けは行わないでください。
- 湿気が少ないところ …… 湿気の多いところや、水のかかるところに取り付けますと、錆や作動不良を発生する恐れがあります。
- 直射日光が当りにくいところ ･ 直射日光があたりますと、誤動作の原因となります。

取付方法

①取り付け位置、壁の確認

･取り付ける壁がコンクリートの場合は、プラグ、タッピンねじセット （付属品)を使用してください。
･弱い壁面(コンパネ[6mm以下]や石膏ボード等)の場合は補強材で補強してからタッピンねじ、もしくはパラシュートピス(付属していません)をしてください。

⚠ 注意
･本体下面から対象物まで30cm以上のスペースを確保しませんと、対象物からの光の乱反射により誤作動する場合がありますので、あらかじめ乾電池を装着し(乾電池の装着･交換方法参照)、誤作動しないことを確認してから取り付けてください。



②本体の取り付け

･裏箱の穴に合わせて、壁面に穴をあけ、ネジ等で固定します。

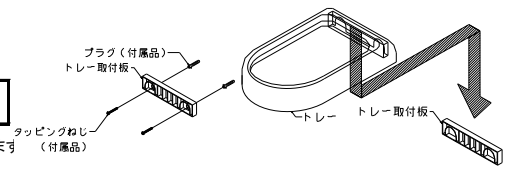
⚠ 注意
･壁面がコンクリートの場合は振動ドリル等で穴(φ 6㎜･深さ30～40㎜)をあけ、プラグ3個(付属品)を打ち込み、タッピンねじ3個(付属品)で固定してください。
･壁面が木製の場合は、あらかじめ案内穴(φ 2.5㎜)をあけて、タッピンねじ3個(付属品)で固定してください。
･壁面への穴あけ時、他の配管、配線が通っていないことを確認してください。
･接着での取り付けはしないでください。落下により重大なけが、または故障の原因となります。
･切粉はきれいに取り除いてください。

③トレーの取り付け

･本体下面から30cm以上のスペースを確保してください。トレー取付板の穴に合わせて壁面に穴をあけ、ネジ等で固定します。

⚠ 注意　誤作動防止のため、トレーは必ずご使用ください。

※トレーを図のようにトレー取付板に合わせ、下にスライドさせて取り付けます

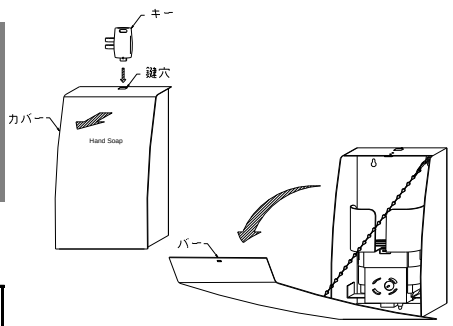


ご使用方法

このディスポーザブル式薬液ディスペンサーはアルカリ乾電池(単2×4本)を使用して薬液の入ったパウチから、薬液を吐出させる装置です。
本体下に手のひらを差し出すとセンサーが感知し、ノズルから薬液が1回吐出します。一旦手を引き、再度、手のひらを差し出すことによって繰り返し吐出させることが出来ます。

主な特長

センサー	･センサーで手のひらを感知して、薬液を吐出させるので、本体に直接触れる必要がありません。
安全スイッチ	･カバーを開けるとスイッチが切れ、薬液が吐出しなくなります。
表示ランプ	･センサーが手のひらを感知したときは赤色に点灯し、乾電池の寿命が来たときには赤色に点滅します。
キー	･専用にキーで、カバーと電池ボックスカバーの開閉と本体の取り外しを行います。

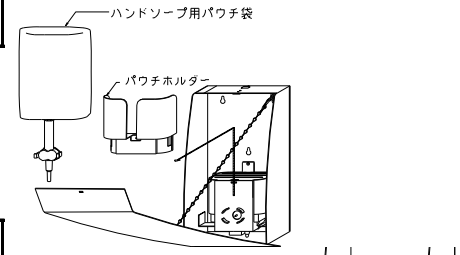


カバーの開閉方法

･キーの爪を本体天面の鍵穴に押込み、カバーを手で持ちながら手前へ開けます。
･閉じるときは、カバーを元に戻して、"カチッ"と音がするまで押さえます。

⚠ 注意
･カバーは必ず手で持ちながら手前に開いてください。
･カバーは重みで手前へ開きますので手で持たないと手をはさんだり、カバーが破損したりする恐れがあります。
･キーはなくさないよう大切に保管してください。
･カバーの上には物を載せないでください。破損の原因になります。

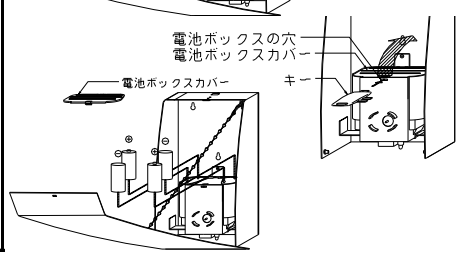
※初回はパウチ袋が装着されています。



乾電池の装着･交換

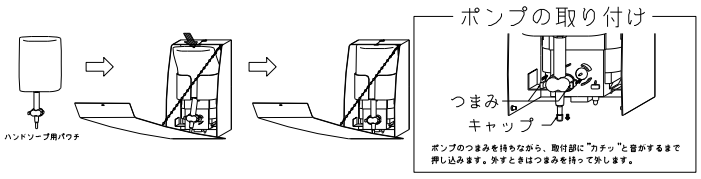
①カバーを開けます。
②ハンドソープ用パウチ袋とパウチホルダーを取り外します。
③キーの爪を電池ボックスの穴に押込み、電池ボックスのカバーを開けます。
④＋－の向きに注意して、新しいアルカリ乾電池(単2×4本)を装着します。
⑤電池ボックスカバーを取り付け、パウチホルダーを取り付け、カバーを閉めます。

⚠ 注意
･表示ランプが赤く点滅すると、乾電池の寿命です。新しいアルカリ乾電池(単2×4本)と交換してください。
･アルカリ乾電池(付属品:単2×4本)は動作を確認いただくためのものであり、保証対象外とさせていただきます。本器をご使用になる際には、新しいアルカリ乾電池(単2×4本)をご用意ください。
･乾電池は充電できません。
･長期間ご使用にならないときは、乾電池を取り出して保管してください。
･新しい乾電池と使用した乾電池、他の種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
･使い切った乾電池はすぐに取り出してください。



パウチの装着･交換

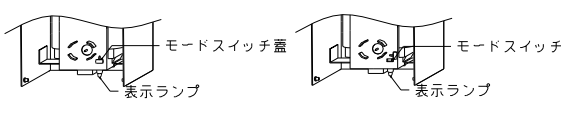
①カバーを開けます。
②個装箱からパウチを取り出します。
③パウチを本体に装着します。
④ポンプを電池ボックスに装着します。
⑤ポンプについているキャップを取り外します
⑥カバーを閉じます。



モードスイッチの切替方法

①カバーを開けます。
②モードスイッチ蓋を外します。
③市販の精密ドライバー等を使用して、モードスイッチを切り替えます。また、下表のようにスイッチ切り替え時には、設定位置によって表示ランプが点滅します。

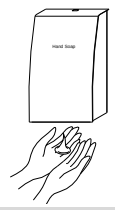
モードスイッチ設定位置	左側	中間	右側
吐出時間	長め	短め	中間
表示ランプ	1回点滅	2回点滅	3回点滅



使用方法

･本体下に手のひらを差し出すとセンサーが感知し、ノズルから薬液が1回吐出します。
一旦手を引き、再度手のひらを差し出すことによって、繰り返し吐出させることが出来ます。

⚠ 注意
･薬液をセットした直後は、すぐにノズルから薬液は吐出しません。
薬液が吐出するまで、本体下に繰り返し手のひらを差し出してください。



使用上の注意

薬液に貼付されている「使用上の注意」などをよく読んでからお使いください。
薬液を床面などにこぼした場合は、すぐに拭き取ってください。すべって転倒するなど、人体に危険が生じる恐れがあります。

お手入れ方法

本気を末永くお使いいただくために定期的にお手入れをしてください。
汚れは乾いた柔らかい布で拭き取ってください。汚れがひどいとき、適度に薄めた中性洗剤をふくませた布で拭き取ってください。その後水で濡らした柔らかい布をよく絞り、洗剤を拭き取り、最後に柔らかい布でから拭きしてください。

⚠ 注意
･次のものは使わないでください。
シンナー･ベンジン･アルコール･石油･粉石けん･みがき粉･中性洗剤以外の洗剤類･熱湯･酸･アルカリ･たわしなど
･化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

※薬液は品番47042「シャボネットユ･ムS1LパウチUD用」をご使用ください。

ノズルの掃除

･ノズルに薬液がたまったりゴミが詰まったりすると、吐出が正常に行われなくなり、十分な機能が発揮されません。次の要領でノズルの掃除をしてください。

①カバーを開けます。
②ノズル先端の吐出穴に約φ 1㎜の針金を差し込んで付着物を取り除きます。
※針金は20㎜以上差し込まないでください。
③カバーを閉めます。
④吐出状態を確認します。
※確認後吐出状態が異常なときは、容器を交換してください。

緊急時の対処方法

使用薬液の「使用上の注意」などにしたがって対処してください。

目に入った場合　直ちに流水で15分以上洗浄した後、直ちに眼科医の手当てを受けてください。

飲み込んだ場合　直ちに大量の水、牛乳や生卵を飲ませる。無理に吐かせず、医師に相談してください。

修理を依頼される前に

故障かな？…と思ったら、まず次のことをお調べください。

症状	調べるところ
作動しないとき	･本体カバーは確実にしまっていますか？ ･ポンプが確実に取り付けられていますか？ ･電池切れ(表示ランプが赤く点滅)ではありませんか？
薬液が吐出しないとき	･センサー誤作動(表示ランプが赤く点滅を繰り返す)ではありませんか？ ･薬液がなくなっていませんか？ ･ノズルが詰まっていませんか？

以上のことをお調べになり、それでも具合の悪いときにはご自分で修理なさらないで、お買い求めの販売店にご相談ください

お問合せ先	東京都港区西麻布3-16-28　㈱リライアンス　TEL : 03-3479-9202